



関ロータリークラブ

RI会長 / バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう "Be The Inspiration"

53代会長 / 加藤浩二

2018-19年度 関ロータリークラブ会長テーマ

行動しよう! 情熱を持って

会長 加藤 浩二

副会長 大岩寿喜子

幹事 林 昇

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

Rotary



本日のプログラム 第 2535 回例会 2019 年 3 月 10 日 (日)

「BBQ・イチゴ狩り」 於：ふる里農園 美の関



前例会の記録・第 2534 回 3 月 4 日(火)12:30

『私の今までとこれから』

次期幹事 尾崎嘉彦さん

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆会長挨拶



本日は会員卓話です。尾崎さん、よろしくお願いします。

さて、本日は、「聞くと言う事」について少しお話ししたいと思います。聞くと言うことは、人間の生活上、仕事上欠かす事の無い動作です。簡単な例えを話します。ある日の夕方、私は妻

と久しぶりに話す機会がありました。「ちょっと聞いて欲しい事がある」妻が明らかに異なる様子で言ってきました。何となく居心地の悪い空気を感ず真剣に聞かなくてはと思いました。すると妻は子供の事について話し始めました。私は妻の話に対していつもより耳を傾けて聞いていました。妻の話を聞きながらその都度アドバイスをしました。「…したほうがいい。それは違うと思うな…。こう言う方法もあるんじゃないか？」すると、妻が不機嫌になり、黙り込んでしまった。「何で？」ちゃんと聞いているのに…、気がつくとも妻は目を潤ませ「私の話をちっとも聞いてくれてないわね」と、こちらも思わず「ちゃんと聞いているじゃないか」と声を荒げてしまいました。「貴方からのアドバイスなんていらぬ。ただ、私の話を聞いて欲しかった」私は言葉を失いました。自分ではちゃんと聞いているつもりでした。気付くと相手の発言に対し意見を言い、私の発言に対し、「はい、はい」返事をさせて「じゃあ自分の考えはどうなの？」などとさらに追い討ちをかけていまし

た。結局、聞いていなかったということです。例え話でした。

「傾聴」と言う言葉をご存知でしょうか？コミュニケーションの達人とも言われる対話のプロが「傾聴」はコミュニケーションのなかで最も重要なスキルだと言っています。世の中には話を聞いているのに、聞けていない人が沢山います。決して皆さんはそうでは無いと思いますが、私も経験がある事ですが、例えば部下から相談にのって欲しいと言われて部下が一言、二言、話をしたらおおよその内容を理解し推測して直ぐに自分の考えを語り始め部下の話を聞こうとしませませんでした。その社員はその後、その件ではあまり私と話す事がなくなり、取り返しが付かない状態になってから報告が入る結果となりました。「傾聴」とは「相手を少しでも理解しようと心を傾ける」事であります。「聞く力」は最も対話の基本な聞き方であります。「聞く力」とは、「相手を理解する力」、相手の話の内容を理解すること、相手の気持ち感情を理解することです。それが出来ればより一層、社員とも信頼関係を深める事ができさらには夫婦仲が良くなることは間違いありません。本日の尾崎さんの話をよく聞き更に理解し信頼関係を深めましょう。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 福田春彦
会員 49 名中 出席 22 名 出席率 45.84%

◎ニコボックス委員会 委員 木村聡

会長・副会長・幹事の皆さん…本日の卓話、次年度幹事 尾崎嘉彦様、次年度に向けての意気込み、熱意をお話しいただければと思います。そして、今週末のイチゴ狩り例会にたくさんのご登録ありがとうございます。春の一日、ご家族で楽しんでいただける設営をいたしますのでよろしくお願いします。

福田、林(隆)、堀部、三輪、西本、後藤、長尾、奥村、酒井、杉浦、清水(公)の皆さん・・・尾崎さん「わたしの今までとこれから」というテーマでの卓話大変楽しみにしています。いつものように、今後の抱負についても熱く語ってください。お願いいたします。

藤井淳さん・・・先日のゴルフ会で久々にベスグロ優勝させていただきました。岐阜関カントリー倶楽部はホームコースですので、何とか面目を保つことができました。ありがとうございました。

市川義和さん・・・バースデーカードをいただきありがとうございました。

木村聡さん・・・バースデーカードありがとうございました。今日現在の時点ではまだ51歳ですが来週の3/11に52歳を迎えてしまいます。ロータリーの壮年の部への入会が間近になってきましたので、諸先輩方よろしくお願いいたします。

掛布真代さん・・・バースデーカードありがとうございました。

◆『私の今までとこれから』 次期幹事 尾崎嘉彦さん



こんにちは、尾崎嘉彦です。本日は担当例会ということで、事務局の伊佐地さんより内容の決定を催促されておりました。そんな折メンバーの方との食事会にて、会員一人ひとりの事をあまり知らないよね、という話が出ました。確かにといい私を知って頂いてご指導

ご鞭撻を頂きたいという願いから、本日のお題にさせて頂きました。私は2012年7月に入会させて頂きまして早6年目が過ぎようとしています。6年大変お世話になりました。これからもどうぞよろしくお願い致します。入会当初 新入会員スピーチをさせて頂きました。ついこの間のように思えます。大変簡素にお話申し上げ3分持ったかどうかだった記憶があります。まずは、今一度自己紹介を兼ねまして私の今までをお話しさせていただきます。1969年昭和44年9月2日 酉年 おとめ座にて生を受けました、ピンクレディーのケイちゃんと一緒にです。現在満49歳です。男性です。幼少のころは良く言えば活発だったと思います。おっちょこちょいとか、うるさいとか、落ち着きがないとかよく両親に叱られていました。ですが5歳下の妹がいますが、よく面倒を見るやさしいお兄ちゃんでもありました。小学校から中学、高校と陸上部に所属しました。逃げ足は速かったので短距離 200m、400mを主に走っ

ていました。高校の県大会にての 400m県6位が最高成績でした。ま決勝でドベということですが・・・勉強は嫌い、遊びは好きというごく普通の子供時代を過ごしました。高校を卒業するとき普通に就職先の内定をもらっていましたが、卒業直前になぜだか取り消されまして、行く当てもなくなり父親の会社に渋々拾ってもらいました。なぜ取り消されたかは、ご想像にお任せいたします。もともと厳しい父親でしたし、出来の悪い息子が来たぞ！という当時の先輩方の目もあり、また拾ってもらったという気持ちも少なからずあったので仕事は自分で言うのもおかしいですが頑張っていたと思います。当時はバブルの時だったこともあってか、とても忙しく、夜中まで現場で仕事をしたり、休みがないのは当たり前でした。エアコン屋ということもあって、6月から9月までは工事や修理にと大変でした、海水浴に行ったのは生涯で2度だけです。小学校のころ母親に連れて行ってもらった水晶浜と家内とのハワイへの新婚旅行の時です。こどもが3人いますが、連れて行ってあげたことはありません。手先の器用さや、機械いじりが好きなこともあって割とスムーズに仕事のことは覚えていけたように思います。ここで私の家業を紹介させていただきます。私の入社当時は父親が事業を興してから7・8年のころ、創業10年目くらいだったと思います。エアコンの取付工事を主軸に業者向けの冷蔵冷凍機器の設置やボイラー類の設置を行っていました。現在も主軸はエアコン等の設置工事ですが、少し範囲を広げ建築設備としています。空調設備では、温度、湿度等をコントロールしたり、換気・集塵 空気清浄をする設備工事を行っています。冷凍冷蔵設備では厨房用の汎用冷凍庫・冷蔵庫の販売から80坪 -25℃の冷凍庫を作ったりしています。給排水設備では加藤さんの会社と重なりますが、一般家庭の給水・給湯・排水設備工事から工場・ホテルと少し規模の大きな設備も行っています。最近では公共の上水道工事も請け負わせて頂いています。電気設備では、これは土屋さんと重なってしまっていますが、宅内電気工事や太陽光発電設備工事を行っています。太陽光発電設備は4、5年前の再生可能エネルギー促進法が施工されたときは、随分お仕事をいただきました。年を重ねるにつれエアコンの普及も進み、それに伴い工事業者も増え、メーカーも拡販のため工事の簡単な商品を出してきますので、エアコン屋だけでは先行きの不安がありましたので業務内容の拡大を進めてきました。設計・修理・工事まですべて自社にてこなしています。西暦2000年 世間は2000年問題とかで、やれパソコンが使えなくなるとか色々な話題が出ていましたが、私の2000年問題は、社長交代でした。私が30歳、父親が53歳だったと思います。

何かと勇み足な父親の決定でした。交代に合わせ社内クーデターが起きました。18人ほどいた社員が6人ほどにまでになりました。現場に出ていけるのは父親を含め4人でした。昼間は現場で工事又は修理、帰社してから夜は設計や見積もりという日々でした。しかしよくしたもので捨てる神ありゃ拾う神ありで、縁ある人が一人・また一人と入社してくれました。現在まで何人かの入れ替わりはありますが、社長交代の後に入社した社員と一緒に頑張ってくれています。現在はフィリピンの実習生2人を含め16人で頑張っています。来月私の次男坊が加わります。今後の規模拡大は、考えていませんが内容の充実に頑張っていかなばと考えています。自己紹介はこれくらいにしてお題にもあります私のこれからをお話しさせていただきます。言葉の通り将来の事ですので夢・希望といった方がいいかもしれません。4、5年前に思い立ったことがあります。障害者福祉です。縁あって障害者の自立支援をしている人と食事をするがありました。いろいろな福祉事業にあることかもしれませんが現在福祉事業ではなく、まったくの営利事業となってしまう障害者や高齢者が利用されているだけの施設等が多数あると聞きました。そして知らないだけで結構な数の障害を持った人がいるとも聞きました。関市で現在5千人前後の方が見えるようです。その出会いで考えさせられました。私は欲を言い出したら切りはありませんが、現在何不自由なく過ごさせてもらっています。仕事ができ、家族がいて、友達もいます。しかし、夢があっても、希望があっても、頑張りたくても叶えられずにいる人のために何かできることはないかと考えるようになりました。私の親戚にも障害を持った子がいます。ふと、その子のことを思いました。私の子は何の障害もなく生まれ、今も元気になっていますが、もし、あの子が私の子だったら私はどうだろうと考えました。日々の事・その子の将来の事いろいろ悩んでいるだろうと思います。そして何よりもこの子を置いて自分が先に死んでしまうことに恐怖を感じました。その時思いました。障害者福祉を志そう、障害のある子供たちに働く場を作ってあげたい、本当の意味で自立支援をしたい、そして子供たちの親がその子の将来に少しでも安心できるようお手伝いをしようと思立ちました。そう決めたら今度はどうやって自立支援をするかを考えました。私が日々行っている仕事は先ほど申し上げた通り建築設備業です。なかなか障害のある子たちに仕事をもらう環境ではありません。どうしようかと悩みました。単純作業・軽作業を生み出せる工場を立ち上げるのいいと思いました。しかし次の悩みが何の工場ができるのかということでした。今更新たな分野で工場なんてそう簡単にできるはずがないと悩

みました。悩んでいるうちにひらめきました。農業だ！と私の会社の周りは田んぼ・畑がいっぱいです。言い換えれば、田んぼ・畑の真ん中にうちの会社があります。農業法人を立ち上げ、それぞれの子にあった作業栽培・収穫・選別・梱包・出荷それを子供たちとリタイア後の高齢者の方で出来る事業を始めよう！決めました。さあ準備だと勢いづきましたが、待てよ「俺、農業なんて小学校の授業以来したことないぞ」と気づきました。そこでまずはできる準備はしようと、農業を通じて障害者・高齢者福祉を目的とする会社だけは作りました。次に私自身が農業を勉強しようと始めました。食物工場まがいのこともしました。結論的に露地栽培で行こうと決め、当時は100坪と200坪の2つの畑でいろんなものを作りました。本を見て、近くの畑のおじいちゃん・おばあちゃんに教えてもらいながら作りました。基本は、作業者が障害のある子、もしくは高齢者なので、少しでも手間がかからずそれでいて収益性が高いものを探しながら作ってみました。今、5年目なると思いますがいろいろ作った中から黒豆の栽培に絞り、去年からは道の駅やらとれたら広場等で販売もしています。当初300坪足らずの畑しかありませんでしたが、現在は10反3,000坪ちょっとにまで畑も増やし、合間をみてはトラクターに乗り、草刈り機をかついで農業の勉強をしています。もちろん同時に福祉の勉強もしています。今年は1人2人の子供たちを迎え入れることがしたいと考えています。昨今、農福連携という言葉が聞こえるようになりました。二番煎じになるようで少し悔しさもありますが、それは横に置いておいて頑張ろうと思っています。ここまでが、私の今までとこれからです。甘ちょうい夢を申し上げたかもしれませんが、今後ますますのご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。有り難うございました。

◆幹事報告

- ◎例会終了後「理事、役員会」開催
- ◎IM報告書拝受
- ◎郡上長良川RC創立40周年記念誌拝受
- ◎地区研修協議会のご案内
日時：4月14日（日）11：30
場所：三重県総合文化センター

次例会のご案内 3月19日（火）12：30
「会長エレクト研修セミナーの報告」
会長エレクト：土屋佳久さん

例会：毎週火曜日12：30
例会場：岐阜県関市本町6-20大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25アメリカ2F